

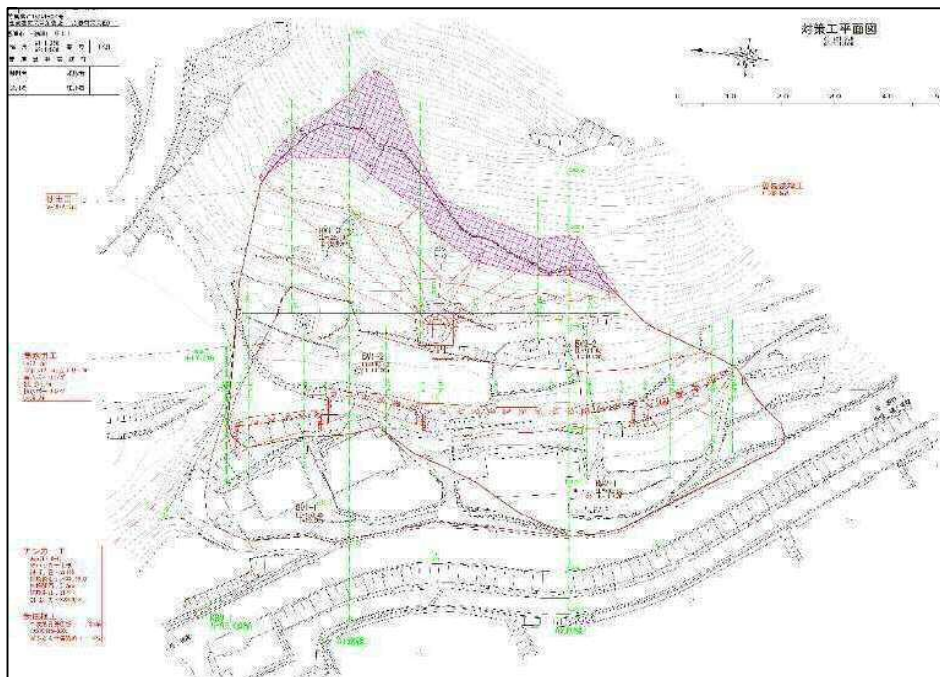
## 【現地見学箇所の概要】

# はぜのたに 櫛ノ谷地区 溪流等県土保全緊急対策事業工事

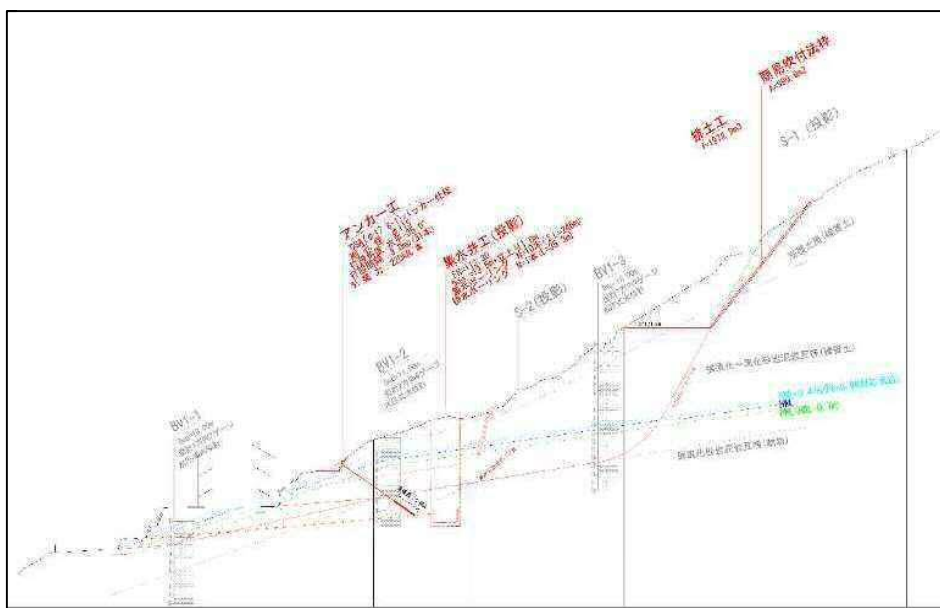
### 災害の概要

施工地は、唐津市から南南東に約 18.0km に位置し、唐津市相知町平山上地内にある山腹斜面である。令和 2 年 7 月 7 日から 8 日の豪雨によって民家裏斜面で地すべりが発生。地すべり頭部には段差亀裂が連続し、末端部には擁壁の傾倒や押出しが確認され、両側壁はやや不明瞭。その後、令和 2 年 10 月から令和 3 年 3 月にかけて、ボーリング調査、観測、対策工設計を行った。

### 平面図



### 縦断面図





着工前全景

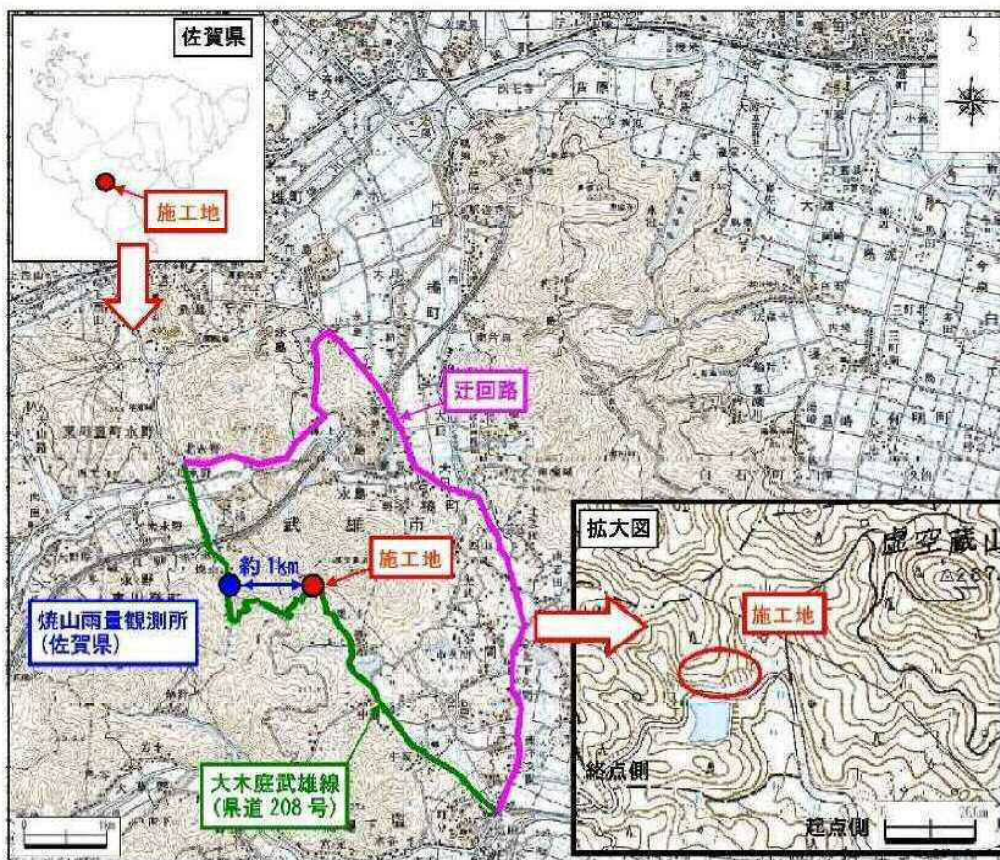


完成後全景

災害の概要

施工地は、武雄市市街地から南へ直線距離約4.5 kmに位置し、嬉野市塩田町大字久間丙地内の一般県道大木庭武雄線（県道208号）の切土法面である。令和元年8月27日～28日の豪雨により、道路山側の切土法面において、地すべりが発生。地表・地中変位と地下水位の開始。又、令和2年7月5日～12日の豪雨に伴い当初より、広い範囲で地下水の上昇に伴う地表・地中の連動する変位を確認、追加調査を行い、観測を継続。令和3年8月11日～14日の豪雨により、地すべり全体で地下水位の上昇に伴う地表・地中の連動する変位が認められた。地すべりの両側部は、崩壊し、頭部には連続した段差地形・亀裂が確認された。

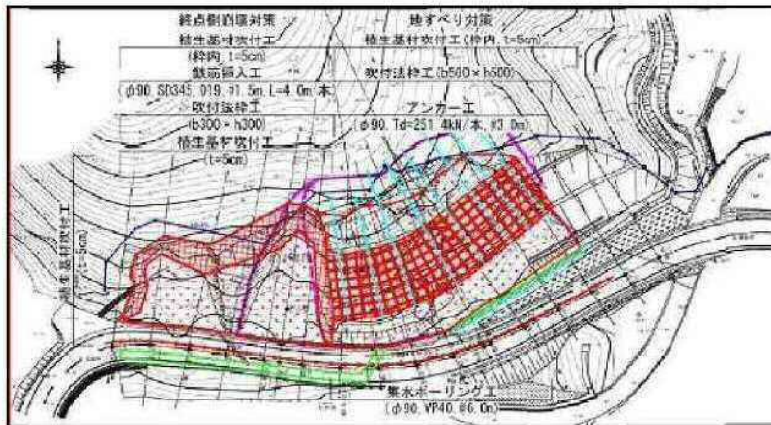
施工位置図



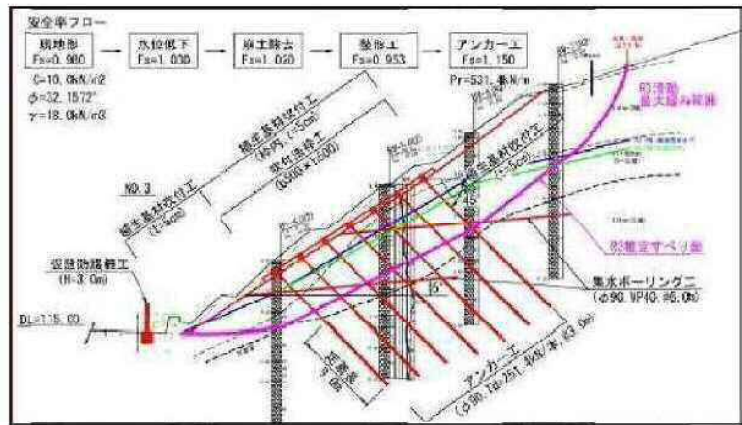
「国土地理院地形図 S=1:50,000 (武雄, 鹿島)」



平面図



横断面図



着工前



完成

